



鹿部漁港と駒ヶ岳

夕陽渡島 夕陽渡島 夕陽渡島

夕陽渡島

夕陽渡島 夕陽渡島 夕陽渡島

NO. 105
平成20年 7月31日
夕陽会渡島支部
事 務 局
長万部町・長万部小学校



継続する夕陽の精神

夕陽会渡島支部長
竹内 良 容

今年度の夕陽会渡島支部の総会において、支部長を仰せつかりました昭和四十八年卒、木古内町立木古内小学校の竹内良容でございます。支部長としての任を精一杯全うしていきたいと思っております。今年一年間のご協力、ご支援どうぞよろしくお願いいたします。

さて、時代の流れの中で新しく生まれ変わった母校からは、教職に就く卒業生がますます減少していくことが予想されます。そうした中で、夕陽会の入会をいかに高めていくか、これからの大きな課題であると思います。

本部発行の「夕陽会報」をよんでいたら、平成十七年卒のMさんの文章に目が留まりました。「・・・その瞬間まで一緒に悩み、一緒に考え、一緒に創っていく・・・それがこの仕事の一番面白い部分だと思う。」ウェディングプランナーとして活動している彼は、悩みぬいて今の仕事に就き、新郎新婦の最高の笑顔を引き出すために、最善の策を練っていることがその文章から伝わってきました。

教員養成という分野で地域に貢献してきた輝かしい歴史と伝統は、たとえ糸のように細くなっても、根底に流れる「土地墾闢、人民蕃殖」の真摯な建学の精神は、まちがいなく受け継がれていることがわかります。こんなMさんのような若者が、夕陽の精神をしっかりと受けとめ、次の世代へと受け継いでいってくださるのではないかと思います。そして、今までのような一本の糸ではなく、教員以外の多くの分野から、蜘蛛の糸のように、ネットワークを張り巡らせ、夕陽の発展につなげていきたいものです。

平成二十年度

夕陽会渡島支部

総会・懇親会盛會裡に終了

夕陽会渡島支部副支部長 前田政男

平成二十年度の総会及び大懇親会・新会員歓迎会を、ホテル法華クラブ函館で開催しました。

総会は、黒崎前支部長の挨拶で始まり、夕陽会本部からは、川島会長より祝辞を

いただきました。

その中で、当面する九十周年記念行事の取り組みの様子や、母校の現状や将来への展望等が話されました。



その後の報告事項、協議事項等々スムーズに進行し、役員改選に入りました。今年度は、支部長他一名の副支部長の改選と小幅でしたが、竹内新支部長を中心に、夕陽会発展のため更なる努力を重ねる決意を新たにいたしました。

総会後、大懇親会・新会員歓迎会に移り、御来賓の中から内町教育委員会教育長田中健一様のご発声による大祝宴会に入りました。その後新会員の紹介

がありましたが、若い会員による教育にかける熱き信条が披露され、渡島夕陽会の益々の発展を確かめることができました。

大抽選会後に寮歌大合唱に移りましたが、大先輩の「夕陽」にかける

なり無事全日程を終了しました。世は構造改革の真只中。教育としては益々同窓の絆を強化することの必要性を感じています。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

一、支部・支会の連携強化

- ① 会員の同窓意識を盛り上げる。
- ② 会員相互の助け合いを大切にする。
- ③ 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- ④ 情報活動を活性化させる。

二、会員の向上・援助

- ① 会員相互の研修活動を促進する。
- ② 人材の発掘と登用を積極的に進める。

三、本部及び他支部との連携

- ① 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
- ② 本部事業への積極的な協力を図る。
- ③ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- ④ 本部からの支援を積極的に求める。

● 事業推進方針 ●

一、支会訪問と援助

- ① 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
- 二、情報・資料の提供
- ① 管内及び他支部との情報交換に努める。
- ② 本部との情報交換を積極的に進める。

三、「夕陽渡島」の発行

- ① 教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ、祝詞等の送付をする。
- ② 慶弔関係への迅速な対応をする。

- ① 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年三回発行)

四、研修事業の活性化

- ① 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- ② 研修情報の収集及び「研修資料」の作成・提供を図る。
- ③ 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

五、退職会員との連携

- ① 勇退者への感謝と激励の会を開催する。
- ② 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進する。
- ③ 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」(第十八集)を発行する。
- ④ 勇退会員へ記念品を贈る。

六、本部事業への積極的協力と参加

- ① 本部主催の行事への積極的参加と協力を図る。
- ※夕陽会創立九十周年事業への参加・協力
- ② 本部前納会員への加入のための支援をする。

七、関係機関との連携・提供

- ① 関係機関と連携を強化して、事業を推進する。

八、その他

- ① 教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ、祝詞等の送付をする。
- ② 慶弔関係への迅速な対応をする。

支会だより

同窓の思いを一に



木古内支会長
(鶴岡小学校)

上 平 敏 和

着工された北海道新幹線の工事も茂辺地、釜谷トンネルに続き札苅、泉沢トンネルの工事も近々始まるうとしている木古内町。北海道側の新幹線の駅も現木古内駅の場所に平成二十八年に開業することが決まっています。また、江差―木古内間の道路整備も昨年度から始まり、江差、松前方面の分岐点としての役割に町の将来を託しているかのように感じられます。

木古内町はよく知られている一月十三日、十五日の「寒中みそぎ」に加え、近年は幕末に木古内沖合で沈没した咸臨丸に思いをはせて整備された更木岬を会場とした春のチューリップ祭りや八月の咸臨丸祭りも年々盛んになってきています。

さて、支会の現状ですが十年前には釜谷小学校、泉沢小学校、札苅小学校、木古内小学校、鶴岡小学校と中学校を加え七校あ

った小中学校も小学校の統合で、木古内中学校と木古内小学校、鶴岡小学校の三校となり加えて少子化や人口減の影響で学級数や教職員の数も減り往時の同窓の隆盛とは比較すべもない状況といえます。

平成二十年度の木古内支会は現職会員二十一名(木古内小学校七名、鶴岡小学校四名、木古内中学校八名)が木古内町教育推進の中核として元気に頑張っています。また、OB会員が十名町内に在住し側面から支会活動への支援をいただいております。ただ、支会の中核となる管理職会員が少なくなっているのは、時代の趨勢なのかも知れませんが寂しい限りです。

五月十日の支部総会に置いて木古内小学校竹内良容校長(四八年卒)が支部長に選出されたので、支会としても盛り立ててゆかなければと考えております。

七月には、本部役員にもご出席いただき、同窓の絆を深め組織を確固たるものとするために本支会の平成二十年度総会と歓迎懇親会を開催することとしております。

支会だより

一層の絆を深めて



鹿部支会長
(鹿部中学校)

加 藤 俊 一

勇壮明媚な駒ヶ岳の裾野に広がる鹿部町。二十カ所以上の温泉があり、温泉宿や豊かな漁場に恵まれた港があります。間歇泉の中では足湯も楽しめ、歌手鳥羽一郎氏の別荘があることでも有名です。町には、演歌が流れ、漁場の人たちの意気を感じます。そして、数回の駒ヶ岳の噴火被害にも耐え、遅しい町民の結束力で何度も再生を続けてきたこの町には、底知れないエネルギーを感じます。鹿部町総合体育館には、「展示コーナー」があり、本町出身の元プロ野球選手盛田幸妃氏から寄贈された「カムバック賞」のメダルや記念品、その他卓球の有名選手のパネル等、様々な展示物を見ることが出来ます。これからも、スポーツに対する町民の意識の高さを感じます。

また、運動会や体育祭には、グラウンドの周りに数多くの家族

のテントが張られ、学校教育への関心の高さが伺われます。そして、幼稚園・小学校・中学校の一貫教育を通して様々な活動が行われ、保護者と共に歩む教育のあり方を実践しています。今年度の鹿部支会の活動は、以下の三点を中心に進めて行きます。

①本部・支部事業推進への協力体制を強化する。②会員相互の親睦・交流等により連帯感高揚を図る。(支会総会・懇親会の開催。会員相互の連携)③情報収集、提供などの情報活動の活性化を図り、会員の福利向上に資する。

今年度の本支会は、鹿部小学校十五名、鹿部中学校十一名、計二十六名で気持ちを新たに出發いたしました。今後は、本支会の総会及び懇親会を行い会員相互の絆を深めていきたいと考えています。また、今年度は、夕陽会九十周年の節目の年でもあり、夕陽讃歌にある「拓北の熱き想いに 集い来し 若もの達よ」の気概を新たに、「熱き若もの達」を標として支会の運営を行っていききたいと考えております。

平成20年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	飯 田 正 典	松 城 小	松 井 博 美	松 城 小
福 島	浜 田 寛	吉 岡 小	白 取 悟	吉 岡 小
知 内	丸 山 隆一郎	湯ノ里小	長 崎 充 宏	湯ノ里小
木古内	上 平 敏 和	鶴 岡 小	鷺 田 里方子	鶴 岡 小
北斗市	青 木 完 二	久根別小	新 谷 公 康	久根別小
七 飯	大和田 正 人	峠 下 小	西 谷 さおり	峠 下 小
鹿 部	加 藤 俊 一	鹿 部 中	山 崎 晃	鹿 部 中
森	工 藤 彰 子	石 倉 小	小笠原 英 緒	石 倉 小
八 雲	阿 部 武 夫	野 田 生 小	樫 野 人 範	野 田 生 小
長万部	高 野 雅 文	中の沢小	長 内 克 麿	中の沢小
五 稜	嶋 田 聡	渡島教育局	小笠原 学	渡島教育局

平成20年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	天 野 哲 征	終身会員
	川 合 正 芳	終身会員
	藤 枝 勝 雄	終身会員
	黒 崎 勇 司	終身会員
支 部 長	酒 井 充 容	上 磯 中
	竹 内 良 木	木古内小
副支部長	前 田 政 男	大 沼 小
	小 市 林 基 秀	東 野 小
	小 市 川 英 雄	大 中 山 小
監 査	大 澤 敏 弘	八 雲 中
	和 高 敏 明	春 日 小
幹 事 長	細 川 敬 太 郎	長万部小
副幹事長	川 野 真 一	砂 原 中
会計幹事	佐 藤 幸 男	福 島 小
庶務幹事	高 橋 伸 夫	森 小
	小野寺 公 徹	藤 城 小
広報幹事	新 谷 公 康	久根別小
	木 村 孝 子	大 野 小
	小野寺 幸 恵	沖 川 小

▶夕陽会渡島支部事務局◀

〒049-3521
 長万部町字長万部3-5
 長万部小学校内
 細 川 敬 太 郎
 電 話 01377-2-2514
 F A X 01377-2-2515

平成20年度会務報告

〔19年度〕
 4月9日(木)

平成二十年年度総会、大懇親会案内状発送
 第四回渡島支部役員会(沖川小学校)
 飯田正典校長(松城小学校)ご母堂様ご逝去・・・
 〔平成二十年年度総会・大懇親会〕祝辞等依頼文発送
 八雲支会総会・懇親会(温泉ホテル八雲遊楽亭 本部)花田副幹事長、
 支部・小林副支部長)

〔20年度〕
 5月10日(土)

平成二十年年度、大懇親会・新会員歓迎会の開催(ホテル法華クラブ函館)

12日(月)

五稜支会総会・懇親会
 本部へ二十年年度支部支会現況報告
 平成十九年度第三回本部役員会
 (フィットネスホテル330函館黒崎顧問)

16日(金)

本部創立九十周年記念式典・祝賀会支会へ案内発送
 渡島教育委員会教育長会 岩村吉男会長様へ挨拶(竹内支部長・細川幹事長)

20日(火)

渡島教育委員会教育長会 田中健一幹事長様へ挨拶(竹内支部長・細川幹事長)
 渡島教育委員会教育長会 藤巻博司副会長様へ挨拶(竹内支部長・細川幹事長)

24日(土)

北方教育資料館・夕陽記念館改修オープニングセレモニー(北海道教育大学函館校 黒崎顧問)

26日(日)

渡島教育局 吉田一昭局長様へ挨拶(竹内支部長・細川幹事長)
 北斗支会総会・懇親会(ホテル海王館 函館スパビーチ 本部)土谷副幹事長、支部・竹内支部長

6月5日(木)

平成十九年度第四回本部役員会、顧問・参与会(黒崎顧問、竹内支部長)
 知内支会総会・懇親会(川波 本部)土谷副幹事長、支部・竹内支部長

13日(木)

七飯支会総会・懇親会(かみむら 本部)小笠原副幹事長、支部・前田副支部長
 平成二十年全国支部長会議
 夕陽本部総会
 夕陽創立九十周年記念式典
 夕陽創立九十周年祝賀会